

令和6年度 昆虫採集クラブ活動記録

第3回例会の内容

2024年7月6日(土) 晴 28℃

今回の例会は始めにスライドで「水生昆虫が暮らしていける水辺の環境と浚渫の話」を解説しました。いつもは昆虫をピックアップしてお話していましたが、今回の例会では昆虫を取り巻く環境についてのお話も少しだけさせていただきました。

また、環境について考える一環として、皆さんにカエル池の浚渫をお手伝いいただきました。

当日は^{どうしつ}NATURE LOOP^{ネイチャー ループ}を通りカエル池で水生昆虫を観察した後、池の落ち葉や泥を浚渫してもらいました。その後、^{ピクニック フィールド}PICNIC FLELDで長めに採集を行い、去年は通れなかったイノシシ裏の^{ネイチャー ループ}NATURE LOOP^{スーモ ベース}を^{スーモ ベース}ZOOMO BASE^{スーモ ベース}に向かいました。池の周りをメインに採集したので前回は見かけなかった昆虫も見つけれられたのではないのでしょうか。

カエル池ではザルを使って、ヤゴやゲンゴロウの仲間などの水生昆虫を捕まえることができました。オニヤンマとタカネトンボのヤゴをたくさん見つけることができましたね。他にも、ルリボシヤンマのヤゴも捕まえることができました。トンボのヤゴを見比べてみると、種類や齢期によって全然違う見た目をしているのが分かりますね。

水生昆虫以外にもトウホクサンショウウオの幼生やアカハライモリも捕まえることができました。観察の後はカエル池の浚渫を行いました。次の日に改めてカエル池の様子を見に行ったところ、皆さんが浚渫をする前より池の水位が上がっていました。ご協力ありがとうございました。



オニヤンマのヤゴ (若齢)



オニヤンマのヤゴ (終齢)



タカネトンボのヤゴ



ルリボシヤンマのヤゴ



トウホクサンショウウオの幼生



ミズスマシの一種



抜け殻 (不明)



ヒメゲンゴロウ



カエル池 (浚渫後)

ピクニック フィールド
PICNIC FIELDとトンボ池ではミズカマキリやマツモムシなど、カエル池では見かけなかった水生昆虫を捕まえることができました。当日の例会に備えて長靴で来た方も多かったので、池の浅瀬など、いつもは入れない所まで入って採集してる方が多かったです。

また、今シーズン初めてのルリボシカミキリを捕まえた方もいました。



マツモムシ



シオヤトンボ



オオシオカラトンボ



オオアメンボの幼虫



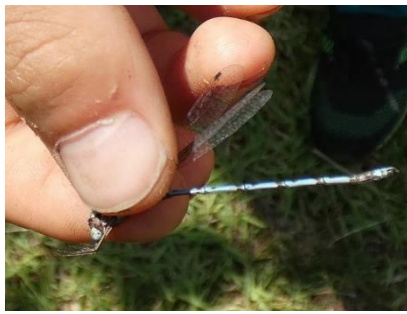
オオオバボタル



セマダラコガネ



ルリボシカミキリ



ホソミオツネトンボ



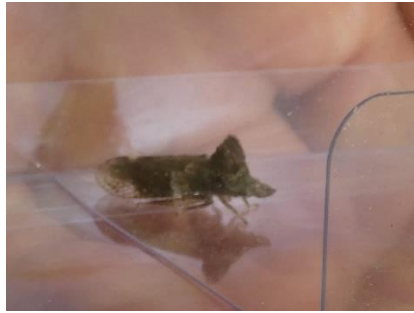
ヤブキリ (幼虫)

イノシシ裏の^{ネイチャー}NATURE LOOPは去年は通らなかった道です。園路沿いの開けた環境とは違って、林に囲まれており、伐採木もあるのでもう少ししたらカミキリムシが捕れるかもしれません。

今回の例会では、いつもとは違う採集方法を試したこともあり、普段は見かけない昆虫も多く見られました。また、今年の例会では初めてのヒグラシを捕まえた方もいましたね。これから気温が上がり気候にも変化するため、次回の例会では今回見かけなかった昆虫をたくさん見つかるかもしれません。



ミドリヒョウモン



ミミズク



ヒメツノゴミムシダマシ

その他の昆虫たち



アカガネサルハムシ



アゲハモドキ



アザミオオハムシ



アメンボ



エゾゼミの幼虫



カゲロウの一種



カシワツツハムシ



クマバチ



クロトラカミキリ



ヒロウドカミキリ



ナキイナゴ



ニッポンヒゲナガハナバチ



ニホンヒラタタマバチ



ハムシダマシ



ヒメオビオオキノコムシ



巻貝の一種



幼虫不明



幼虫不明



ホソミオツネントンボ?のヤゴ